

APPLIED BUSINESS STUDIES REVIEW

ビジネス 実務論集

No. 25

2007年3月

理論・調査研究

論文

キャリアの意識化を促すためのキャリアツリーモデル
——山口 憲二… 1

研究ノート

地域再生事業における資金循環について
——北崎 寛… 13

組織における個人能力とその理論的意味
——西谷勢至子… 21

クラスター分析に基づく女子短大生ノートテイキングの諸相
——山本 恵, 梅村 信夫… 29

キャリア支援における導入教育
——戸田 昭直… 39

教育開発研究

ビジネスコミュニケーション能力向上のための手法
—トライアングルメソッドの理論と実践—
——平田 祐子… 49

e-ラーニングをはじめとする教育の情報化に関する動向と
ビジネス実務教育への応用
——山本 浩貴, 白川美知子… 59

インターンシップの新展開をめざして
——篠原 収, 佃 昌道, 石井 三恵, 桐木 陽子… 69

コミュニケーションに主眼をおいた情報検索演習の一考察
——木原すみ子… 81

学生の主体性を引き出す教育方法の研究
—コーチングの活用とその可能性—
——金岡 敬子… 91

接遇教育におけるビジネス実務実習室のレイアウトが及ぼす効果
—仮想オフィス「一の字型」と「L字型」の比較—
——藤村やよい…103

特 集

「プレゼンター・オブ・ザ・イヤー賞大会」の軌跡……………115

編集後記

今回は、15編の応募があり、その中から11編の掲載となりました。編集委員会では昨年に引き続き、事前審査の時期を2ヶ月以上かけ、複数の審査委員の方々に丁寧な審査をいただき、その意見をもとに年末の2日間をかけ、審査基準、審査方法などを含め、慎重に審議を致しました。積極的にご投稿いただいた会員の皆様や審査にご協力いただいた先生方にこの場を借りてお礼を述べさせていただきます。

なお、応募された内容については、一部編集委員からの意見をお願いすることもありましたが、今後のビジネス実務の教育・研究の発展のためとご理解いただければ幸いです。

さて、次回の全国大会は札幌で開催される予定です。テーマは、「ビジネス実務における教育技法の開発—学習効果を高める視点から—」となっておりますので、ふるって発表をお願いするとともに、是非論集にも投稿をお願い致します。

本論集も日本ビジネス実務学会に改称して11回目になりますが、掲載された内容はいずれもビジネス実務の教育・研究を行う上で重要なものと考えています。公務多忙の折とは思いますが、次回もたくさんの論文のご応募をお待ちしています。

(編集委員長 佃 昌道 記)

■ 編集委員 佃 昌道, 今林宏典, 大島 武, 岡野絹枝, 中村健壽, 福井 有,
油谷純子, 渡辺裕一

ビジネス実務論集
No.25 2007
平成19年3月発行

発行 日本ビジネス実務学会 編集委員会
☎370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300
高崎経済大学内
TEL (027) 344-7587
制作 上武印刷株式会社
TEL (027) 352-7445

断わりなく複写・転載を禁ず